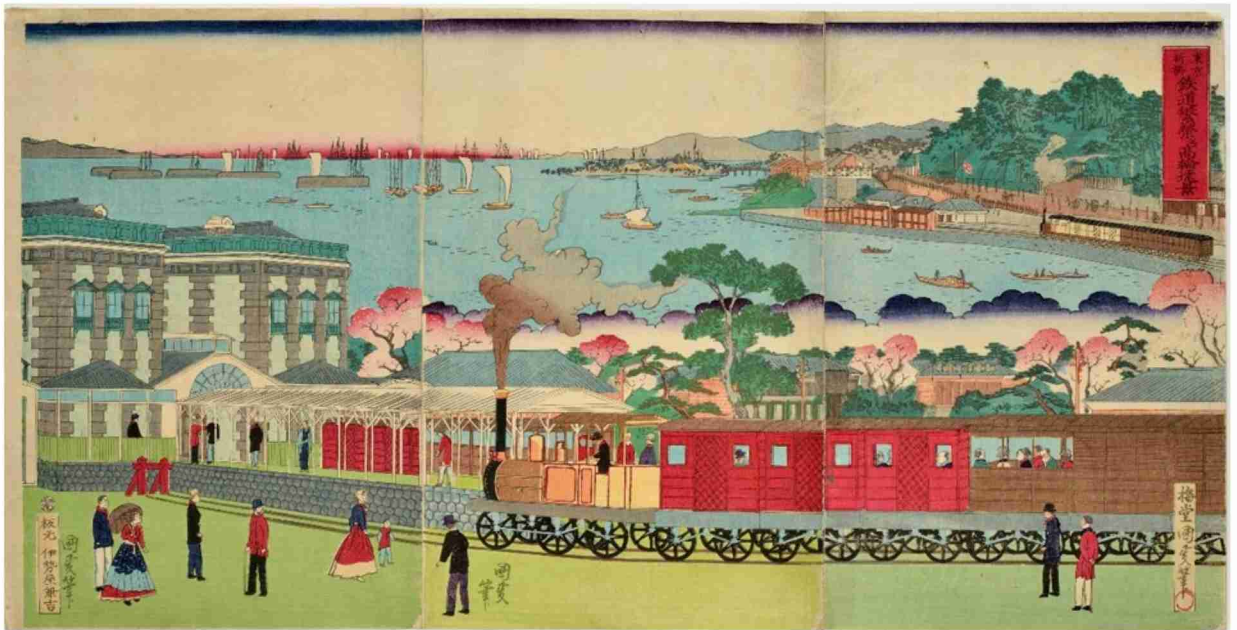


# 新橋ステーションと高輪の遠景



(4代) 歌川国政「東京新橋鉄道繁栄并高輪遠景」  
明治6年(1873)1月改印

鉄道開業の翌年春の販売を見込んで出版された錦絵です。横浜発の汽車が今まさに新橋ステーションへと到着するところ。この駅舎はアメリカの建築技師ブリジェンスの設計による洋風建築で、木骨石張り2階建ての2棟を木造の平屋で連結していました。細長い上家付きのプラットホームが設けられています。

一方「遠景」として高輪方面を走る横浜行きの汽車が描かれ、こちらは品川ステーションに近づいています。

明治5年(1872)9月に開業した新橋ー横浜間の鉄道は、文明開化を象徴する画題として数多く取り上げられました。